

令和3年度（2021年度） 北海道社会教育セミナー

住民の自己肯定感を高めるための
演習方法、プログラム作成方法を学ぶ

期日 令和3年（2021年）**6月3日（木）・4日（金）**【申込締切】**5月14日（金）**

会場 **Web会議システムZoom** ※Zoomによるオンライン配信のみの開催です。
※参加確定後に配信ID等をお知らせします。

主な内容

【講師プロフィール】

一般社団法人日本体験学習研究所（JIEL）

研究員 岡田衣津子 氏

短大卒業後、一般企業に就職するも、祖母の介護をきっかけに社会福祉士資格を取得し、精神科病院に入職。精神科ソーシャルワーカーとして、当事者や家族の相談支援に従事した。大学院卒業後は、専門学校で教員として精神保健福祉士養成に携わる中で、社会課題への住民参加、住民の主体性形成に関心を持つようになった。

現在は行政職員として地域コミュニティの活性化支援を行っている。一人一人が語る言葉を大切に、多様性を生かしながら社会の創造と、コミュニティにおける対話の文化の醸成を目指している。日本福祉大学大学院国際社会開発専攻博士課程在学中。社会福祉士、精神保健福祉士、修士(教育ファシリテーション)。



【JIELとは】

「共に生きる社会の創造」を目指して、「特別に設計された人と人がかかわる場において、“今ここ”での参加者の体験（プロセス）を学びの素材として、体験学習の循環過程を活かして人間や人間関係を参加者とファシリテーターが共に探求する学習」である「ラボラトリー方式の体験学習」を中心に据えて、様々な学習プログラムを展開しています。代表理事・所長は南山大学・津村俊充名誉教授。

【1日目 10:00～15:00】

＜演習＞

**体験を通して、自分や
他者のありように気づく**

【2日目 9:10～10:30】

＜講義＞

**人との関わりを紡ぐ
—自己肯定感を育む
ポイント—**

【1日目 15:10～17:00】

【2日目 10:40～12:00】

＜研究協議＞

**自己肯定感に働きかける
事業プログラム作成**

【作成の際に想定する対象者】

分科会 1…対象：未来を担う子どもたち

分科会 2…対象：学校を核とした地域づくりの担い手

分科会 3…対象：孤立しがちな地域住民

分科会 4…対象：地域を担う若い働き世代・子育て世代

演習での体験を受けて、まずは個人で「5W1H」で事業プログラムを作成し、分科会グループでの交流・検討を通じて、グループで1つのプログラムを練り上げます。

【2日目 13:30～15:00】

＜交流会＞

フリートーク

コロナ禍で集合形式のセミナーや研修会が減り、実地での交流や人脈形成の機会が激減していることを踏まえ、申込の時点で提案のあった課題（テーマ）について**フリーで話し合う時間**を設けます。

オンラインによる**人脈形成の機会**としても活用いただければと思います。

お問い合わせ先

北海道立生涯学習推進センター（担当：丸尾・斉藤） 札幌市中央区北2条西7丁目 「かでの2・7」8階
TEL:011-231-4111(内線:36-324)/FAX:011-261-7431 e-mail:shougai.12@pref.hokkaido.lg.jp